

渋川北群馬郡地域感染症発生動向調査情報（週報）

2025年第43週（2025年10月20日～2025年10月26日）

令和7年10月30日

★マイコプラズマ肺炎が増加中です

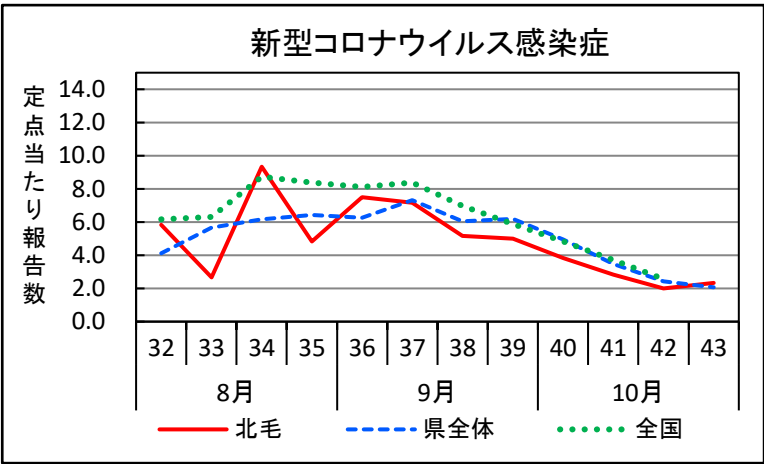
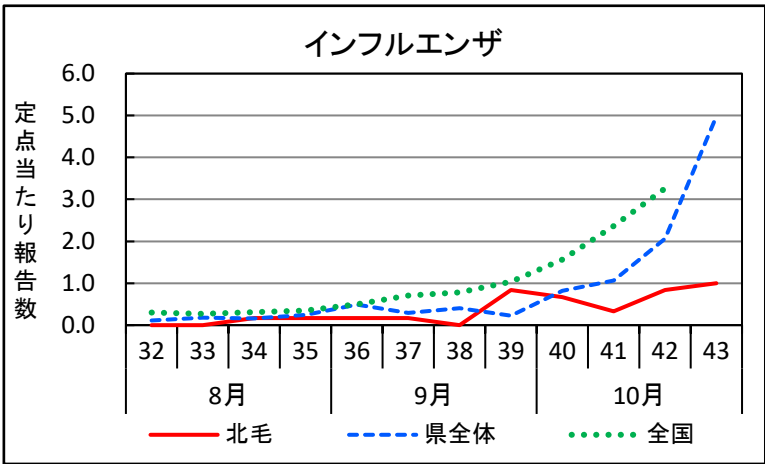
県内では、マイコプラズマ肺炎の報告が増加しています。特に、15歳未満で多くの報告がありました。肺炎マイコプラズマ（*Mycoplasma pneumoniae*）という細菌によって起こる呼吸器感染症で、2～3週間の潜伏期間を経て、発熱や咳の症状が現れます。咳は、熱が下がった後も3～4週間程度続くことが特徴です。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられますが、秋冬に増加する傾向があります。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。石けんと流水による手洗いや、咳エチケットを心がけましょう。医療機関から処方された抗菌薬は、指示どおり服用しましょう。

★全数報告疾患（渋川保健所管内）

【二類感染症】…結核 1件

10月27日～11月9日

読書週間



疾患別報告数一覧

上記グラフは、北毛地域の注目疾患について掲載しています。

急性呼吸器感染症（ARI）定点把握疾患及び小児科定点把握疾患			眼科定点把握疾患		
疾病名	定点当たり報告数		疾病名	定点当たり報告数	
	北毛	県全体		北毛	県全体
急性呼吸器感染症（ARI）※	41.83	105.82	急性出血性結膜炎	-	-
インフルエンザ	1.00	4.98	流行性角結膜炎	-	1.36
新型コロナウイルス感染症	2.33	2.07	基幹定点把握疾患		
R S ウイルス感染症	-	1.52	疾病名	定点当たり報告数	
咽頭結膜熱	-	0.16		北毛	県全体
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	1.96	細菌性髄膜炎	-	-
感染性胃腸炎	4.00	7.00	無菌性髄膜炎	-	-
水痘	-	0.12	マイコプラズマ肺炎	2.00	5.78
手足口病	-	-	クラミジア肺炎	-	-
伝染性紅斑	0.33	0.44	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-
突発性発しん	-	0.52	インフルエンザ（入院患者）	-	0.44
ヘルパンギーナ	0.33	0.40	新型コロナウイルス感染症（入院患者）	3.00	2.78
流行性耳下腺炎	-	0.08			

感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計しています。

図表中の「北毛」は、渋川保健所管内・吾妻保健所管内・利根沼田保健所管内を指します。

※令和7年4月7日より、流行しやすい急性呼吸器性感染症の発生動向の把握、新興・再興感染症の早期探知を目的として、急性呼吸器感染症（ARI）が新たに追加されました。

●凡例

	警報レベル	注意報レベル
--	-------	--------

より詳しい感染症情報は
群馬県ホームページで公開しています。

【お問合せ先】
渋川保健福祉事務所 保健係
E-mail：shibuhofuku@pref.gunma.lg.jp
TEL：0279-22-4166